

あがまち

議会だより



平成19年度 上条保育所の入所式

No. 8
2007.5

発行：阿賀町議会 ☎0245-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
発行責任者：議長 遠藤信也

主な内容

19年度予算	2~3P
18年度補正・施政方針	4P
一般質問	5~17P
委員会報告	18P
区長の意見・提言(中ノ沢区・津川五区)	20P
特集(伝統・文化・史跡) 鹿瀬・上川	21P

※古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

広報委員、2年間で 振り返り

早いもので、合併してから2年が経ち、広報委員も任期満了となる。合併直後から2年、いろいろな事がありすぎ、住民の立場で、ありのままにわかりやすく伝える事を目指し、取り組みましたが、文章で人に伝える事の難しさ、住民になじみの薄い議会用語の取り扱い等まだまだ改善しなければならぬ点がある。数多くあると思います。議会だよりにも一部批判がありますが一定の方向性が確立できたと思っております。当初、編集にあたり、いろいろな点で戸惑いもありましたが、各委員のがんばりで全国広報研修で、それなりの評価も得られるようになりました。



全国町村議会広報研修会 (2度参加)

2年間、議会だよりにつき合っていました。ありがとうございました。本号にて筆を置かせていただきます。次号より新広報委員で、我々の足りなかつた部分を、補ってまいります。

◎農業委員の議会推薦

波田野 泰 博議員

◎教育委員の任命

大竹 敏夫

◎財産取得

旧加藤内科医院の診療施設の購入
金額 1,511万円



5月15日より開設 津川療養所

請願及び陳情

◎日本農業に甚大な打撃を与える、日豪FTAの交渉中止とFTA・EPA促進路線の転換を求める意見書
(FTA・自由貿易協定)
(EPA・経済連携協定)

提出議員 宮澤勝見(採択)

◎関東・甲信越・北陸地域各県で最低額となった、生活保護基準以下の「新潟県最低賃金」額の引き上げ・抜本改正を求める意見書

提出議員 薄 巖弥(採択)

◎プライバシー侵害、個人情報漏洩など、住民の「安心・安全」の後退が懸念される「市場テスト」の拡大・推進に慎重な対応を求める意見書

提出議員 薄 巖弥(採択)

編集室より

毎年、春先に見られる、道路脇のあき缶、ゴミ拾い。今年も各地で、地域の有志、老人クラブ等の人達のボランティア活動であると思う。軽トラックいっぱいあき缶、ゴミを集めている。本当に頭の下る光景である。

車の普及と共に、あき缶、ゴミのポイ捨てが増えてきているものと思う。ほんの少しの心掛けで防げると思うが、毎年、春先の恒例となっている。ドライバーの一人として恥かしくなる光景だ。

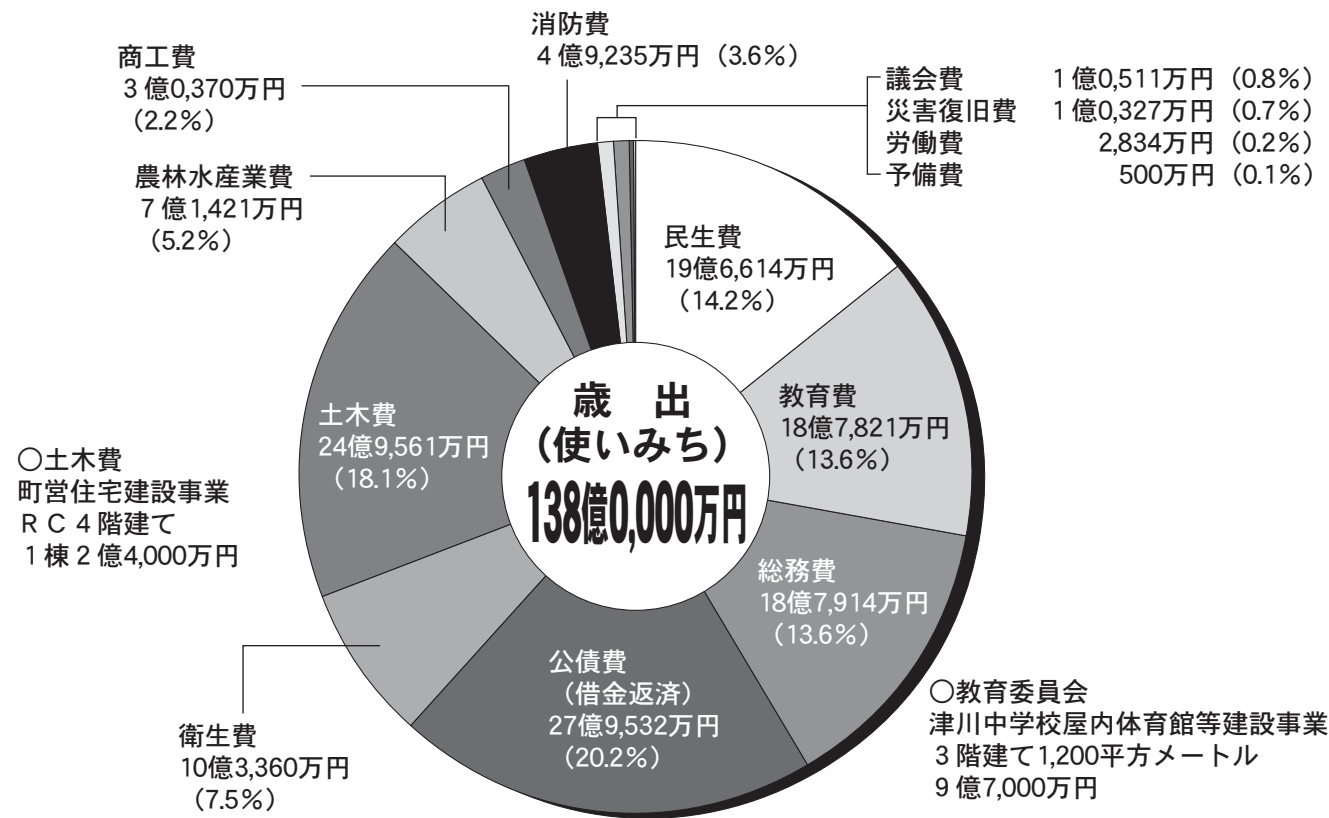
(山口)

編集委員会

議長	遠藤 信也
委員長	山口 周一
副委員長	宮川 周 一
委員	渡部 英 弘
委員	佐久間 勇 夫
委員	猪俣 誠 一
委員	土屋 勝 則

平成19年度予算

一般会計総額138億円可決 前年度比較5億3,400万円増



統合にむけ新しい体育館を建設予定 (津川中)

平成19年度第1回定例会が3月9日に召集され、20日までの12日間の会期で開催され、条例制定3件、一部改正10件、廃止1件、一般会計予算、特別会計10件、教育委員の任命、請願3件が提案された一般会計、特別会計については特別委員会に委ねられ、全会一致で承認された。

委員長 星 公 司

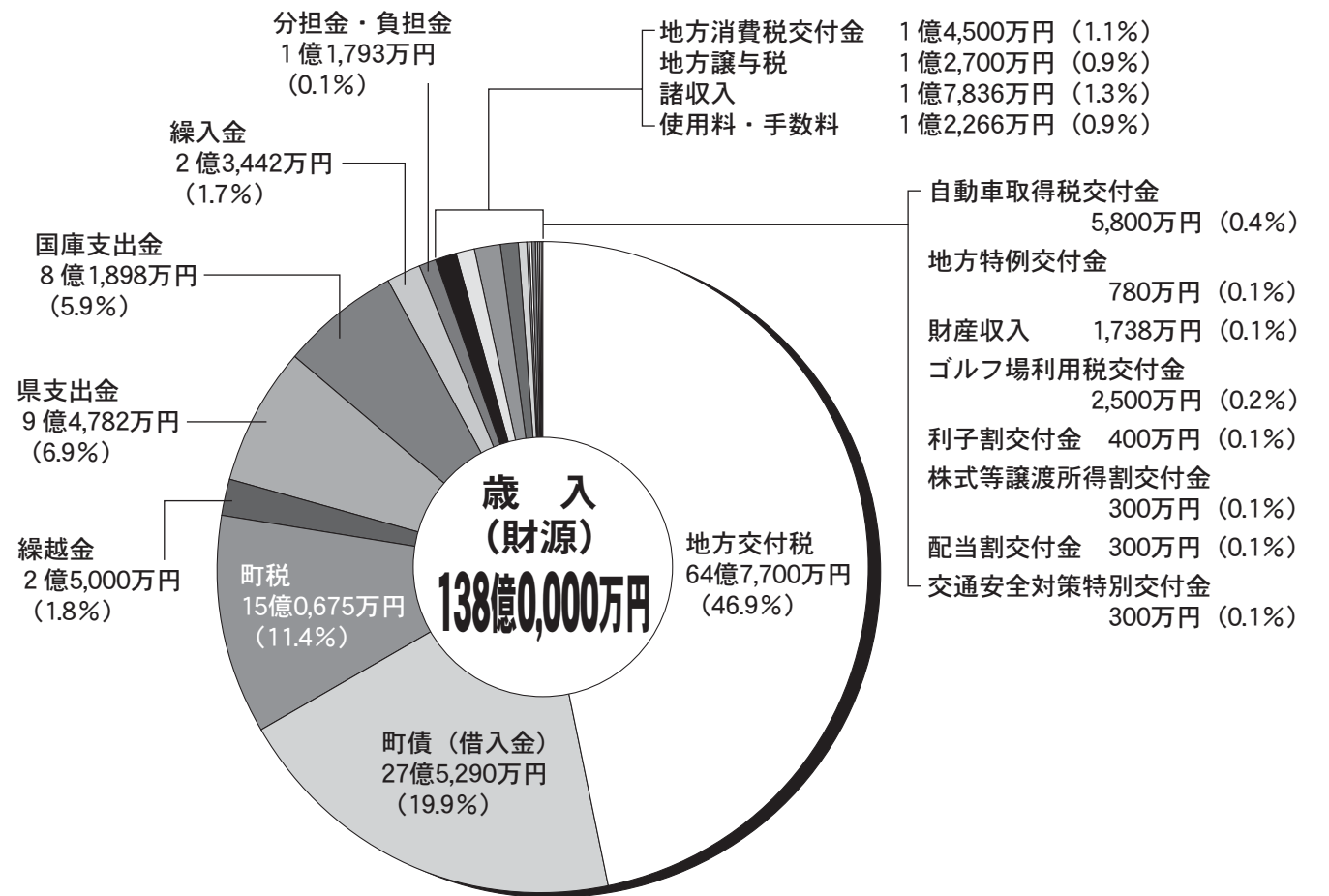
去る、3月13日の本会議において、本委員会に付託された事件、議案第10号平成19年度阿賀町一般会計予算のほか10件は、3月14日、3月15日

3月16日、3月19日の4日間本委員会は原案のとおり可決すべきものと決定したので、会議規則第77条の規定により報告する。

予算審査特別委員会

特別会計予算 (10件)

国民健康保険特別会計	18億9,630万円
老人保健特別会計	21億7,080万円
介護保健特別会計(保険事業勘定)	18億8,371万円
介護保健特別会計(サービス事業勘定)	1,496万円
診療所特別会計	2億9,691万円
簡易水道事業特別会計	12億0,722万円
下水道事業特別会計	11億2,957万円
工場団地造成事業特別会計	1,379万円
町営スキー場事業特別会計	8,541万円
水道事業会計予算	1億7,711万円





常浪川ダム事業の現状は

石田守家 議員

質問
 旧上川村が念願だった常浪川鍵取発電所建設計画は、平成11年7月に中止されました。中止変更理由は単に東北電力との売電価格が調整つかずのことでした。

本事業変更後の県土木単独の治水ダム計画も具体的進展もいまだないままです。町として一般的にどう理解されているのか。私は、幻の建設計画とも思われ、現時点での明確な対応、町として総合計画に掲げていますがご意見を求めるものです。

町の将来など考慮し、一般県道227号線の改良促進、小出入口、九島区間の早期取組、本名室谷線峰越林道沿線に広がるブナ原生林の啓発、ダム水没地の有効利用、自然林、地域の特性を将来に生かせる町挙げての振興計画が不可欠と考えますが神田町長の答弁を願います。

水没地周辺の有効利用を図れ

質問

町長
 常浪川ダムは洪水調整を行い、津川地域等の水害を防ぎ民生の安定と産業の発展を図る上で重要なダムであることは十分認識しています。

発電から治水ダムに変更されたことは本当に残念に思います。町の総合計画にも早期着工とうたっております。今後はダム周辺整備についても検討しなければと思っております。

次に林道室谷線、ブナ林の観光等の活用についてですが、平成9年越後山脈森林生物遺産源保護林に指定され、地域は極めて厳しい基準

ダム周辺整備を検討

町長

で立入りさえできないことで、何といっても自然を生かした森林環境教育が近年話題になっており、森林浴やレクリエーション施設などに活用しようとして、下越森林管理事務所と現在打合せ中です。今後とも地域の皆さんと歩調を合わせ



室谷地区のブナ林

平成19年度施政方針主な内容

入札制度の改善

贈収賄事件の発端となった入札制度を精査し、制度そのものの欠陥を見直し、透明度を高める改善を行います。

※具体策として

- 1、簡易公募型指名競争入札の導入に加え、一般競争入札の運用も試みます。
- 2、指名審査委員会の改善を行い、公平性、公開性を高めます。
- 3、入札監視委員会を新設すべく予算を計上しました。

ケーブルテレビ

説明会やアンケートの意見を参考にし、町民の理解を得る内容とした上で取組みたい。本町の遅れている情報化と地域内情報格差の解消に努めます。

定住促進

若者の定住およびU・Iターン促進目的の助成制度を創

学校教育

学校教育の質に対する保護者・地域の方々の関心が高まっていることを踏まえ、次の事を重点に取組みます。

- 1、津川・鹿瀬・上川中学校の円滑な統合の推進。
- 2、教育環境、施設整備の推進。
- 3、学力向上を目指した学校運営の実現。
- 4、いじめ・不登校を生まさない学校運営の実現。
- 5、地産地消を核とした、安全で魅力ある給食の実現。

医療費助成

乳幼児医療費助成制度の入院の対象年齢を、現行の4才未満から小学校卒業までとします。

国体のボート会場

新潟国体のボート競技の会場開催地として、公園内の管

無料職業紹介所開設

理道路や駐車場を主体に、条件整備を推進します。

新潟県初の行政が行う、町無料職業紹介所開設のため、現在申請中です。

要援護者支援台帳の作成

災害発生時、障害者や一人暮らし高齢者が、地域の中で適切な支援が受けられるよう、要援護者支援台帳を作成します。

国民健康保険

国民健康保険の算定項目、所得割、資産割均等割、平等割で構成されてますが、資産割を廃止する。

津川診療所の開設

旧加藤医院を購入し、津川診療所を開設します。



桜満開の角神ダム

18年度3月補正予算の主な内容

歳入、歳出それぞれに、2億8,534万円を追加し総額、150億2,212万3,000円となった。

※総務費

○財政調整基金積立金

2,040万円

○減債基金積立金

3,515万円

○斉場建設計画調査委託料

500万円

○水道事業特別会計繰出金

2億4,813万円

※民生費

○老人保健特別会計繰出金

6,766万円

※衛生費

○小中学校パソコン購入費

5,985万円

○麒麟橋下流地域整備事業

600万円

○分団旗購入費

1,732万円

○小型ポンプ付積載車購入費

700万円

○教育費

270万円

○消防団被服費

527万円

○消防団被服費

732万円

○分団旗購入費

270万円

○小型ポンプ付積載車購入費

700万円

○教育費

270万円

○消防団被服費

527万円

○消防団被服費

732万円

○分団旗購入費

270万円

○小型ポンプ付積載車購入費

700万円

○教育費

270万円

○消防団被服費

527万円

○消防団被服費

732万円

○分団旗購入費

270万円

○小型ポンプ付積載車購入費

700万円

○教育費

270万円

○消防団被服費

527万円

○消防団被服費

732万円

○分団旗購入費

270万円

○小型ポンプ付積載車購入費

700万円

○教育費



町政に対する町長の姿勢を問う

宮川 弘 懿 議員

再質問 一般的水準は、70%か80%が望ましいと言われていること

町長 平成17年度の決算で、92.7%で、県内15町村の平均が84%で、県下の35市町村で高い方から6番目です。いわゆる町の行政改革大綱並びに集中改革プランに基づいて歳入の確実な確保、徹底した歳出の削減につとめます。

再質問 記念品ですと、同じ物を持つているとか、利用価値が限

町長 義務的経費をいかに抑制していくことにつきると思いますが、この数字を念頭に置きながらやっていきます。

町長 商品券を発行する方向で検討させていただきます。

町長 商品券を發行する方向で検討させていただきます。

町長 商品券を發行する方向で検討させていただきます。

町長 商品券を發行する方向で検討させていただきます。



鹿瀬地区の敬老会（18年度）

1、経常収支比率が極めて高いその改善策は

質問 我が町も地方税、使用料、手数料等の自主財源が少なく国からの依存財源に頼っている。

町長 初めての町の予算組みに当たり、その財政状況をどのように把握され、どのように改善されようとしているのか、2・3の重要な問題を取り上げ、財政再建の基本的姿勢をお伺いいたします。

2、敬老会のお祝いに商品券を

質問 記念品ですと、同じ物を持つているとか、利用価値が限

町長 義務的経費をいかに抑制していくことにつきると思いますが、この数字を念頭に置きながらやっていきます。

3、いわゆる職員採用の採用について

質問 職員を町長の分身のように行動してもらうために、職員

町長 職員を町長の分身のように行動してもらうために、職員



支所機能の充実と機構改革を積極的に

伊藤 武 一 議員

町村合併し2年その2年間で色々な事件が発生、町民に多大なる迷惑を行政に対し、信頼が失墜致しました。これらの教訓に新体制の中で過去を払拭、汚名返上、真の阿賀町誕生の船出はこれからと思っております。合併効果を実感できる町づくりにはしなければならぬと思います。

質問 支所長の権限がなくなり1年。庁舎の利用面積が半減し窓口業務以外は本庁に何う事であり即答出来ない現実である。支所長および支所の権限の拡充を求める。

町長 支所機能強化については、窓口業務については決して悪くない。皆さんそれぞれ対応している。支所機能の悪いのは、地域の皆さんに即お答えできない部分事業関係とかそういう部分であり支所の機能の低下しているということでありませんで御理解下さい。

質問 課の再編計画は

町長 合併時において人事の関係もあつてのことではしたが、課の数が多いのではないかと。住民が理解出来ない。課の削減と係の見直しは出来ないのか、合併特例の終了する8年後は、職員数も半減しなければならぬ。職員は今迄以上に広く知識を身に付け、担当者不在でも即応出来る体制を身に付ける必要があるのではないかと、機構改革について尋ねる。

質問 支所の有効活用を

町長 本庁に全課が在籍している本庁舎のあるべき型であると思ひますが、過密すぎるのではないかと、一方上川、三川両支所においては半分位の利用状況であり、来庁者に暗い雰囲気と活気がないイメージを与える。鹿瀬支所への教育委員会分庁が行われ、有効活用している。本庁過密対策に課の分散支所の有効活用およ

質問 橋梁の安全点検を

町長 年数の経過した橋梁の高欄部分の腐食が著しく、穴等が見られ、危険を感じる、再度の点検と適性な処置を求める。



上川支所

町長 分庁方式につきましてはここまでできますと、かつての役場を有効利用する以外のメリットはないと思ひます。支所機能を充実することで、地域密着型でのメリット、実践は支所で、戦略は本庁で実施する方式にすることで本庁の効果が発揮されると思う。本庁の過密体制は支所以外の場所を利用する。



「限界集落」の調査と対策

薄 巖 弥 議員

町長 本町の場合、高齢化率を以って限界集落という定義をしていいの疑問はありますがこれから先どうなるか不安を持っておられることは間違いありません。

住民基本台帳の資料から29行政区において65歳以上の人口が50%を超えております。地域の理解が得られれば、例

町の直面する大きな課題

質問 限界集落とは65歳以上の高齢者が過半数を越し、一人暮らしが増え、社会的な共同生活が難しくなっている集落をいいます。

わが町も限界集落が存在していると思いますが、調査したことがありますか、そこに住み、厳しく暮らしている集落の現実に立って施策を立て国・県に訴えてほしい。

中山間地農業への直接支援の実現は、中山間地農村の運動が国を動かしたように町長は運動してほしい。

質問 限界集落とは65歳以上の高齢者が過半数を越し、一人暮らしが増え、社会的な共同生活が難しくなっている集落をいいます。

わが町も限界集落が存在していると思いますが、調査したことがありますか、そこに住み、厳しく暮らしている集落の現実に立って施策を立て国・県に訴えてほしい。

中山間地農業への直接支援の実現は、中山間地農村の運動が国を動かしたように町長は運動してほしい。



上川高齢者生活福祉センター（上川）

質問 昨年について税源移譲の増加と定率減税の廃止が重なって、住民税が大幅に増え、さ

増税分は暮らしと福祉に

質問 19年度は何らかのアクションを起こしてまいりたい。

えび冬期だけでも下におり、みんなで生活し、雪が消えた春にはわが家に戻って、農耕山菜を採ったりすることで不安から逃れると思ったりしています。

質問 19年度は何らかのアクションを起こしてまいりたい。

えび冬期だけでも下におり、みんなで生活し、雪が消えた春にはわが家に戻って、農耕山菜を採ったりすることで不安から逃れると思ったりしています。

質問 19年度は何らかのアクションを起こしてまいりたい。

えび冬期だけでも下におり、みんなで生活し、雪が消えた春にはわが家に戻って、農耕山菜を採ったりすることで不安から逃れると思ったりしています。



出動がなくピッカピカのロータリー

4月23日町も県に準じた除雪待機料の補助金の支出を決定した。

町長 財政は逼迫しているが、事業量も確保しなければならず

町民が疲弊しない予算編成

質問 90%を超える経常収支の比率から、町財政の硬直化は余儀なくされている。事業の統合や民営化、職員給与の改正や効果的配置が、予算の編成には必要となってくる。予算編成への町長の所信は

町債3億4,000万!

質問 例年になく少雪により、除雪出動がほとんどなく、機器維持・人件費等の収入見込み

除雪待機に助成を!

質問 町債も起し対応した。地方交付税の段階的見直しは、今後の町の財政運営や発展に大きな影響を及ぼす。

町の産業・就業構造の実態をみ、町民全般が緩やかな経済成長をわずかでも感じられるようにとの思いを込めて編成に当たった。

質問 町債も起し対応した。地方交付税の段階的見直しは、今後の町の財政運営や発展に大きな影響を及ぼす。

町の産業・就業構造の実態をみ、町民全般が緩やかな経済成長をわずかでも感じられるようにとの思いを込めて編成に当たった。

町長 出来高払いでは、除雪業者の体制を維持する経費資金は確保されない。委託体制にも新たなシステムの構築が必要がある。

前向きに検討

町長 出来高払いでは、除雪業者の体制を維持する経費資金は確保されない。委託体制にも新たなシステムの構築が必要がある。

近日中に除雪事業における基本待機料の算出根拠が県から示されるので町の対応も検討していく。

町長 出来高払いでは、除雪業者の体制を維持する経費資金は確保されない。委託体制にも新たなシステムの構築が必要がある。

近日中に除雪事業における基本待機料の算出根拠が県から示されるので町の対応も検討していく。

町長 協議した上で、承認されるという過程もあり、時間的に分厚いものとなり、非常におくれていたが、先般の防災会議で承認された。十分耐え得るものであると思う。

防災会議で承認

町長 協議した上で、承認されるという過程もあり、時間的に分厚いものとなり、非常におかれていたが、先般の防災会議で承認された。十分耐え得るものであると思う。

少しおけているが、全員協議会等で説明し理解を求めたい。19年度中にハザードマップを完成して、完全なものにしたい。

町長 協議した上で、承認されるという過程もあり、時間的に分厚いものとなり、非常におかれていたが、先般の防災会議で承認された。十分耐え得るものであると思う。

少しおけているが、全員協議会等で説明し理解を求めたい。19年度中にハザードマップを完成して、完全なものにしたい。



防災の拠点

通院医療費助成は行う

町長 税金については、国の改正で、われわれはいかんともしようがない。減額できる分は減免で対応するしかない。

◆通院医療費助成は小学卒業を含めて、県よりも上位にやろうとしています。

◆それだけでも増額分(税)は充当されます。

◆障害福祉原則一割負担は障害者にとって負担増です。経過的に原則4分の1に軽減するなど、国の制度改正の経過を見る中で対応していきたい。

◆小規模作業所、阿賀作業所ひまわりの家の運営費は、国、県の補助金が打ち切られたとしても、町が負担して支援を継続する。

◆保育料は19年度の改定は予定どおり行う。

◆国民健康保険滞納者の保険証取り上げは、病院に入院している人、子どものいる世帯は行わない。

町長 税金については、国の改正で、われわれはいかんともしようがない。減額できる分は減免で対応するしかない。

◆通院医療費助成は小学卒業を含めて、県よりも上位にやろうとしています。

◆それだけでも増額分(税)は充当されます。

◆障害福祉原則一割負担は障害者にとって負担増です。経過的に原則4分の1に軽減するなど、国の制度改正の経過を見る中で対応していきたい。

◆小規模作業所、阿賀作業所ひまわりの家の運営費は、国、県の補助金が打ち切られたとしても、町が負担して支援を継続する。

◆保育料は19年度の改定は予定どおり行う。

◆国民健康保険滞納者の保険証取り上げは、病院に入院している人、子どものいる世帯は行わない。



予算編成に人事考課を

猪 俣 誠 一 議員

町長 財政は逼迫しているが、事業量も確保しなければならず

町民が疲弊しない予算編成

質問 90%を超える経常収支の比率から、町財政の硬直化は余儀なくされている。事業の統合や民営化、職員給与の改正や効果的配置が、予算の編成には必要となってくる。予算編成への町長の所信は

町債3億4,000万!

質問 例年になく少雪により、除雪出動がほとんどなく、機器維持・人件費等の収入見込み

除雪待機に助成を!

質問 町債も起し対応した。地方交付税の段階的見直しは、今後の町の財政運営や発展に大きな影響を及ぼす。

町の産業・就業構造の実態をみ、町民全般が緩やかな経済成長をわずかでも感じられるようにとの思いを込めて編成に当たった。

質問 町債も起し対応した。地方交付税の段階的見直しは、今後の町の財政運営や発展に大きな影響を及ぼす。

町の産業・就業構造の実態をみ、町民全般が緩やかな経済成長をわずかでも感じられるようにとの思いを込めて編成に当たった。

町長 出来高払いでは、除雪業者の体制を維持する経費資金は確保されない。委託体制にも新たなシステムの構築が必要がある。

前向きに検討

町長 出来高払いでは、除雪業者の体制を維持する経費資金は確保されない。委託体制にも新たなシステムの構築が必要がある。

近日中に除雪事業における基本待機料の算出根拠が県から示されるので町の対応も検討していく。

町長 出来高払いでは、除雪業者の体制を維持する経費資金は確保されない。委託体制にも新たなシステムの構築が必要がある。

近日中に除雪事業における基本待機料の算出根拠が県から示されるので町の対応も検討していく。

町長 協議した上で、承認されるという過程もあり、時間的に分厚いものとなり、非常におかれていたが、先般の防災会議で承認された。十分耐え得るものであると思う。

防災会議で承認

町長 協議した上で、承認されるという過程もあり、時間的に分厚いものとなり、非常におかれていたが、先般の防災会議で承認された。十分耐え得るものであると思う。

少しおけているが、全員協議会等で説明し理解を求めたい。19年度中にハザードマップを完成して、完全なものにしたい。

町長 協議した上で、承認されるという過程もあり、時間的に分厚いものとなり、非常におかれていたが、先般の防災会議で承認された。十分耐え得るものであると思う。

少しおけているが、全員協議会等で説明し理解を求めたい。19年度中にハザードマップを完成して、完全なものにしたい。



町民に公平なサービスを

五十嵐 隆 朗 議員

基本的には、この合併協で協議された事項については、遵守しながら、年次的にソフトランディングしながらやっていくことと。そして10年間でできる話であります。それぞれ歴史、経緯もたどりながら十分考慮におき、再検証しながらやっていく必要があると思っております。

質問 合併時に多くの問題を未調整のまま持ち越しましたが、まだ是正してありません。町民の身近な問題から積極的に解決してほしい。例えば①上下水道料②ごみ収集委託（収集日等）③保育所（認可保育所とへき地保育所）運営と保育料④町営住宅家賃⑤納税組合に対する手数料、補助金⑥官行造林等に係る分収率（土地所有者等への分収率）⑦各種団体への補助金などの積算基準、上記の他、問題は山積しています。合併後10年間の交付税特例措置がある間に整理できるのか所信を伺います。

町長



焼却場内のゴミ収集車

再質問 基本的な問題を解決しませんが、地域住民のトラブルの

住民サービスの維持向上

例えば、上下水道につきましては、公営企業法に基づく上水道、簡易水道の使用料を今すぐ統一することは難しいごみ収集は回数を合わせようと、新年度一部ではあります。が予算を計上します。その他においては、十分徹底した調整、見直しをし、皆さんに理解を得られるよう十分検討し実施していきます。

質問

財源は自ら稼ぐ

原因にもなると思われ。管理職が問題意識をどれくらい、明確に持っているのか懸念されます。

町長

調整シート、あれだけの項目があるわけですから、忘れては困るわけですので、何らかの形でこれを検証するため制度を設ける必要があるのかなと思っております。実現するのは難しいと思いますのでぜひご指摘のようなことで取り組んでまいります。

財源が足りない、税収は伸びない、補助金も交付税も減るばかり。だからといって、町民サービスは削れない。

再質問 職員、町民から提案制度を導入しては、津川地区の第二工業団地敷地も含めて、行革のもとに、専門的できめ細かい施策、展開を望みます。

町長

提案制度導入しては

ここに町内外の民間企業の広告を掲載し、少しでも財源確保に努力してほしい。

町長

大変結構な話で、公共料金の徴収も公平、公正の観点からもさせていたいただきたい。遊休資産等の見直し、収入に結びつけていく手だても考えていきます。最近、公共物であっても、命名権を売る少しでも実質財源の足しになるような手だてを考え、研究させていただきます。



少子化対策 子育て支援策を

土屋 勝 則 議員

妊婦無料健診の拡大を

質問

出生数の低下を招く一因として妊婦や出産に伴う高額な経済負担が側面にあります。厚生労働省は、妊婦健診について国の負担で賄う無料回数、出産世帯の負担軽減を図る目的で、現在の原則2回から5回以上に拡大することを決めました。19年度予算の地方財政措置として計上されず。妊婦健診は、妊娠初期から、分娩まで14回程度の受診が望ましいとされていますが、任意のため医療保険の適用外となり、自己負担総額は平均約12万円に上ります。

町長

特に若い夫婦世帯に対する負担感が大きく、助成回数を引き上げが望まれています。無料健診の拡充を実施すべきと思いますが、いかがですか。

ろ、3回助成で予算措置を致した。このほかに妊婦の歯科検診に対しても1回分無料として助成を行っています。近年ストレス等をかかえる妊婦が増加傾向にあることや就業等の理由により健康診査を受診しない妊婦も見られるようです。母体や胎児の健康確保を図る上で、妊婦健診の重要性、必要性が高まっております。周知を図っていくとともに、健診回数の公費助成については、国の方針を踏まえた上で実施していきたい。

出産費用の軽減策を

質問

現在出産費用に掛かる分娩入院費用は、平均約36万円と言われ、出産時の状況によっては、更に高額になります。昨年10月から、出産にかかると経済負担を軽減するため、国は出産育児一時金の支給額を従来の30万円から35万円に拡充しました。この出産育児一時金について、受け取りを医療機関に委任する「受領委

任払い制度」があります。この制度を利用すれば、一時金が直接医療機関に支払われるので、事前に高額な費用を用意することもなく負担が軽減される面で、大きなメリットとなります。少子化対策につながると思いますが。

町長

現在実施中 周知を図る

出産費用の受領委任払い制度については、平成18年10月



少子化に歯止めを

度については、平成18年10月から出産育児金の改正と同時に、被保険者本人と医療機関との同意に基づき、「国民健康保険出産育児一時金受領委任払い制度実施要綱」を定め現在実施しております。現在のところ利用はありませんが、この制度についての周知を図るためにも広報に掲載致します。



サイクリングロードを 整備して、観光資源を創出せよ

波田野 哲夫 議員

【質問】 私は地域の温泉旅館主や観光施設の社長さんや幹部の皆さんによく言われることがあります。それは、滞在客にこの辺の名所旧跡は何ですかと聞かれるけれども、改まって聞かれると、本当にこれといったものはないんです。一点豪華主義というわけにもいかないから、何か所かかけ持ちで、自転車で何人かのグループで、一日か半日コースであちこち回れるといいのですがね。

それにしても、どこをどう回ったらいいか。道路事情もわからないしということですが、それで次の提案をします。ぜひ実現をしていただきたいと思えます。それは、自転車道として利用できる道路整備をするということです。

一例として、角神青少年旅行村を出発点として、津川の西の、現在整備中の多目的運動広場を終点とする路線を基幹とする自転車道です。

この沿線には、自然もいっぱい、遊びどころもいっぱい



青少年旅行村のバンガロー（角神）

【質問】 この沿線には、自然もいっぱい、遊びどころもいっぱい

ロード マップを

【質問】 道路を整備すると同時に、ここに何かある、ここに何かある、そういった見どころ、遊びどころを記載した、自転車道専用

【町長】 奥阿賀ナビに27万件もアクセスがあったということですので、こういうサイクリングロードなんかを紹介すること、大勢来ていただけると思っていますし、またいろんな施設を有機的に結ぶことに少し欠けているのではないかと、いろんな史跡、たぎがしら公園とか、奥のほうにもあります。阿賀野川船下りでも、遊覧船で上って行って、帰りは馬車で下ってくればよいと思ったりするが、道路の問題もあり難しいかも知れない。

これから、十分に勉強していろいろな部分を有機的に結んで、外に発信していくことが、いま一番大切だと思っております。

有機的に結ぶ

のロードマップを作って下さい。



町民の声が届く 第三セクター運営を望む

宮澤 勝見 議員

【質問】 前町長は議会で奥阿賀観光株式会社と上川温泉株式会社とホテルみかわの2つの施設を統合し、4月からスタートしたいと言明していました。神田町長はこのことに関してどのような考えをもっていますか。

私は、できれば統合を取り止め各施設が優秀な営業マンの確保や観光資源の開発など独自の企業努力を積極的にを行い、健全経営を目指してほしいと思っております。

同時に、各施設には町の執行者が役員に就任していない状況なので、設立時のように町長が一翼を担う役員体制にする必要があるのではないかと考えています。

たとえば、御神楽温泉あすなる荘は、林業関係の補助事業で建設された施設で、農林業の皆さんは勿論ですが、地域住民の大切な憩いや癒しの場で住民生活に密接な関わりがあります。やはりこのような施設は、議会や町民の声が届く町主体の運営が強く求め

られると思いますが、神田町長の所見を伺います。

特色を生かし健全経営に全力を注ぐ

【町長】

それぞれの施設は旧町村の施策に基づいて温泉立地や目的等を持ちながら設置されてきた経緯がありますので各施設の目的に沿った形で運営されることが一番望ましいと考えています。各施設の方々がご意見も聞きましたので、統合よりも互いに切磋琢磨し、競争意識を働かせながら特色を生かして運営していくことが望ましいと思っております。その方向で進めていきます。

また役員につきましては、現役員の皆さんは施設運営に係る資金の借入れなどの責任を持った対応をされ、その運営にあたっていきますので、当面、現行の形で進めていく考えであります。

今後は毎月一回程度の情報

基本的には賛成

【町長】

基本的には、このサイクリングロードに賛成です。旧三川村のホテルみかわを中心として、新谷川沿いの堤防周辺を、そうしてはどうかと考えていたところですし、今、特別な整備はしなくとも歩いておられる方もいます。鹿瀬地域と津川地域を結ぶ周遊ルートということでは、県が主体



国体が開催されるために改修される艇庫

国体開催に 宿泊施設必要か

【質問】

平成21年に第64回国体が本県での開催が決定、当町でボート種目が行われることになりました。国体開催に伴って麒麟橋下流域に各種施設が整備されますが、その中で宿泊施設の建設計画があります。

津川艇庫の改修で 受入れ体制を強化

【町長】

整備計画は国体に必要な施設を最優先し、できるだけ事業費を抑制する方向で検討しています。ご指摘の宿泊施設は、現在河川公園の既存の津川艇庫にスポーツ合宿の受け入れ施設を増築し改修する整備であります。

なお、河川公園の全体整備計画は公園内の幹線道路、駐車場などボート競技大会が円滑に開催できる施設整備を優先し、全体事業費は約3億8,000万円の見込みです。

交換を図り、健全経営の企業努力をお願いするとともに町民へのサービス向上を強く要望していく考えです。

河川敷の立地条件や国体終了後の利用、維持管理を考えると大変疑問に感じます。町内の宿泊施設を大いに利用すべきで、その結果、地域の活性化にもつながります。整備計画には更なる検討を加えていただくよう要望します。



建設行政と情報システム

齋藤秀雄 議員

【質問】

東蒲材で 町営住宅を

町営住宅はコンクリート構造で予定されていますが阿賀町の産業育成から東蒲材利用を強力に推進すべきではあり

【町長】 制度上むずかしい点もありますが地域経済を支える企業への配慮は講じたい。前倒し事業や繰越事業の早期発注で対応できないか検討させているところです。除雪委託契約については出動料と待機料を織り込んだ体系に検討したい。

対策は検討

【質問】 暖冬少雪で地域経済を支えている建設業界の経営は危機的な状態です。県や他市町村では少雪対策費の計上を実施予定と伺っていますが当町も実施すべきと思いますがいかが考えか伺います。

少雪対策費計上を

【町長】 暖冬少雪で地域経済を支えている建設業界の経営は危機的な状態です。県や他市町村では少雪対策費の計上を実施予定と伺っていますが当町も実施すべきと思いますがいかが考えか伺います。



森林組合の製材所（両郷）

【町長】 地域産業の育成から東蒲材の利用は考慮したい。高さについては、敷地面積から計画高さになっている見直しはむずかしい。景観には考慮し整備したいと思っております。

利用を考慮

【町長】 地域産業の育成から東蒲材の利用は考慮したい。高さについては、敷地面積から計画高さになっている見直しはむずかしい。景観には考慮し整備したいと思っております。

情報システムの構築は

【質問】

ケーブルテレビに関する施策が先送りされています。昨年地域説明会では、今年度事業着手ではありませんでしたか。情報システム環境整備は日本一の町づくりには必要な事業ではありませんか。特に難視聴区域の町民は早急なシステム構築を期待しております。インターネット環境は必要不可欠な地域です。

必要性は理解

【町長】

遅れは許されませんが、早急に対応すべきではないでしょうか伺います。

【町長】 本来に今の計画で良いのか、日進月歩の時代であるからこそ見直しさせているところであり、インターネット環

保育料の減免を

【質問】

昨年からの保育料については親の収入基準になっていますが、19年度から見直しが有り値上げになる基準がありますが見直されてはどうか伺います。

【町長】

3年計画ですので実施させて頂きます。少子化対策を考え検討して行きたいと考えます。



ゼロ歳児保育の可能な施設の増設を

渡部英夫 議員

【質問】

当町の少子高齢化の急速な進行は、町の将来にとって由々しき重大事である。

町総合基本計画で低年齢保育等の特別保育を推進するとありますが、当町にはゼロ歳児保育が可能な施設が「上条保育園」と「わかば保育園」の2施設のみで、あまりにも少な過ぎると思えます。

町には子供を出産し、安心して子供を預けたいと考えているお母さん方がたくさんおられる。子供を生み育てることがハンディにならない社会、子育てを行政が支援し、お母さん方の負担を軽減するためにも、ゼロ歳児保育が可能な施設を設置すべきと考える。

地域理解を得 対応を図る

【町長】

少子化対策に限れば、そうした保育施設等の整備、子育て支援をするということが欠くべからざるものと認識しているが、現状は耳障りのいい

子供は 未来を担う宝

【質問】

ことばかりは言っておられませんが、認可保育所は2か所、他はへき地保育所で立地条件によつて建てられている関係でなかなかそれに答えられない。かつたこともご理解頂きたい。しかしこのままにしておくわけにも参りませんので、地域や保護者の皆様のご理解とご協力を頂くなかで指摘頂いた対応をしてゆく。

ゼロ歳児保育施設を心待ちにしているお母さん方や、これから結婚を控えた若い方々のためにも、ぜひお考え頂きたい。このことを実現するためには保育士の増員や調乳室・沐浴室等施設の改装など課題も多いことと思えますが子供は地域の未来を担う宝であるとの認識と、少子化をくい止める施策として実現に努力をお願いしたい。安心して子育てができる町づくりこそが、福祉の町づくりの基本であり、過疎克服に向けての重

改築で 対応可能

【質問】

この施設を一番必要としている地域は津川、鹿瀬の皆さん



ゼロ歳児保育が待望されるもみじ保育園

要課題と考えます。

【町長】 女性の社会進出、共働き家庭の増加、核家族の進行は当町だけの問題ではなく、現代の悩める問題でなろうかと思っている。現在、子育て支援対策に関するアンケート調査を実施し集計作業中であり、保育園の適正規模のあり方や充実したサービスの一元化をめざし、医療、教育、雇用対策など総合的な施策の展開を進めていく中で安心して子供を生み育て、健やかに成長できる環境づくりを進めて参りたい。津川地区の保育園では施設が整っていないなどから、現状では1、2歳児の保育を対応している。

【町長】

私も、もみじ保育園は外からしか見たことがありませんので、担当者に十分検討させて、今年度に行きたい。努力してみたい。

【再質問】

若者が、経済界が必要としている情報環境整備は安心で安全な地域づくりには必要な施策です。いつ頃を目標としているのか、再度伺います。

【町長】

若者は必要かもしれませんが多くの地域の世帯では色々な意見がありますので、再検討させていることを理解してもらいたい。



地域活動拠点の確保と 集会施設の充実を!!

星 公 司 議員

19年度は三川地域、津川地域、奥田区の集会施設の解体と新築工事、また各地区において大規模修繕の必要なものもあり、緊急度を考慮し予算計上したところです。



老朽化した観音様施設利用の集会所（上川地域 明谷沢区）

奥田区・釣浜区などの施設に予算計上

集会施設は、地域住民にとって重要な活動拠点であると考えます。新たに新築および改築等の有無とまた、あるとすれば件数、集落名、19年度予算への反映等はどうなっているかを伺います。

集会施設の新築と改築はあるのか

高齢者にとって、通院および買い物には路線バス、福祉バス等は必要不可欠な交通手段であります。



公衆便所併設のバス待合所（上川地域 原区）

バス待合所の設置を切望する高齢者

高齢者にとって、通院および買い物には路線バス、福祉バス等は必要不可欠な交通手段であります。

町有化で充実を図る

います。

協議会を組織し、再構築を図る

高齢者の方が一番利用が多く、待合所が切望されていると思います。

協議会を組織し、再構築を図る

ます。



少子、高齢化対策 過疎化対策について

神 田 八 郎 議員

人口減に歯どめをかける

少子高齢化対策、そして人口減に歯どめをかけるべく過疎化対策についてお尋ねします。

英知を結集していききたい

高齢化対策については予防介護として高齢者の皆さんが生きがいを持つて安心、安全に暮らし続けることのできる地域づくりが大切。利用に当たっては、窓口が多すぎるので一元化する中で使いやすい方法で、今後担当課に整理を要請していく考えです。医療体制についても、三川、上川の両診療所そして県立病院との連携を図りながら今後条件整備を進めてまいります。

少子化対策については、妊婦および乳幼児検診等の検診助成を一層充実していきたい。医療費についても県の入院費補助を小学校卒業時までを本

予算全般が過疎対策

町ではもう一步前進させた形で実施していきたいと思っております。

住みよい町、住みたくなる町づくりを

人口増につなげるには、やはり住み良い町、住みたくなる町づくりが肝要かと思っております。

言われるとおり、過疎対策はかれこれ40年来、過疎債を投入しつつ膨大な資金を投入して実施してまいりました。



入 所 式

賢者に学べ

現できるよう努力します。

質問

自立の道を選択した矢祭町の根本町長はまず自分の給料カットをそして職員給料カットを断行しました。節約の上の節約です。5億円を返済したそうです。少子化対策では第一子には100万円、第二子には200万円贈呈とのこと。また既存の建物を改築し図書館とし、全国に不要の図書を募ったところ、現在も続々と図書が集まっているということ。また森林環境税についても県に促していくべきだと思います。

今後も一層の努力を

町長

環境税については既に文書で要望済ですが今後も努力しますが、反面、県にももう少し本気になってもらう必要があると思います。今後とも一生懸命努力してまいります。

委員会報告

総務文教

委員長 五十嵐 隆 朗

- 一、調査実施日 2月21日
- 二、調査目的 入札制度の改善
- 三、調査事項 新発田市の入札制度改正内容について
- 四、出席者 総務文教常任委員 加藤総務課長 真田管財係長

五、調査概要

新発田市役所にて、総務部契約検査課、水道局管理課、各課長に入札制度改正について説明を受けた。資料が多いこともあり、あらかじめ委員に配布し質疑項目と具体的な要旨を要約して提出、当日答弁を受けた。主な内容は入札方法、予定価格の事前公表のメリットデメリット、入札監視委員会、審査委員についてその他各委員から活発な質問があり答弁を受けた。

六、まとめ

短時間の質疑応答でしたが、チェック機能を充実させ透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保、不正行為の排除、地元零細事業者の保護など庁内全課で努力している姿を阿賀町に伝えたい。

社会厚生

委員長 星 公 司

管内の施設現況調査を、1月23日(火)に実施したので報告します。

調査概況

○「東蒲の里」 「東蒲の里みかわ園」

両施設とも年々介護度が高くなってきていて、入所希望

者も増加傾向にある。

○心身障害者通所支援施設「ひまわりの家」・精神障害者通所作業訓練所「あがの作業所」

両施設とも

昭和46年に建設され老朽化が著しい。

○「さわやかホーム角神」

温泉利用の施設で、デイサービスなどの評判も良く、入込客数も増加傾向にある。

○「阿賀町訪問看護ステーション」

昨年の民間訪問看護ステーションの閉鎖により、町営「鹿瀬診療所」に併設され今後、利用増加が見込まれる。

まとめ

- ・ 早急に障害者施設的环境整備をすべきである。
- ・ 障害者への生活支援をすべきである。



老朽化著しいひまわりの家

(例：入浴料の無料化)

- ・ オリジナル作品の販売に支援すべきである。
- ・ 看護師の給与を含めた体制の充実を図るべきである。
- ・ 医療機関、保険、福祉の連携により、弱者に対する施策を図り拠点施設の充実を求める。

※「ひまわりの家」の関連で

JR三川駅舎を改修し、移転する計画で、現在JR側と協議中との報告がありました。

産業建設

委員長 高 橋 渡

管内所管調査を1月19日(火)に管外所管事務調査を2月21日(水)〜22日(木)の2回にわたって実施したので報告致します。

管内所管事務調査

鹿瀬地域

① 深戸地区ライスセンター
平成18年度法人を設立し事業導入した。

② 県道鹿瀬〜日出谷線(深戸〜夏渡間)
早急なる整備が求められているが権原が未確定な部分が多く改良工事の足枷となっている。用地の早期調整を勧め早目の整備完了を求める。

三川地域

① 阿賀町営スキー場運営
独立採算性で実施しているが採算が合わないければ考える要ありの意見もありましたが、



深戸ライスセンター

観光阿賀の目玉でありまた地元三川地区より国体強化指定選手2名も決定した事から見守る必要がある。

② 荒沢川土石流箇所
昭和42年、上綱木区集落上から土石流により甚大な被害が発生、近年自然災害の発生が顕著なことから地権者との協議を早急に進め対策を取ら

③ 県道中ノ沢〜内川線
毎年倒木の処理はしているが平成18年度は27本を伐木したものの、対応しきれない

ので国有林の持ち主である国、県に対して抜本的な対応を求める。

管外所管事務調査

調査地

○ 福島県東白川郡鮫川村
自立する元気な村づくり

① 「豆で元気な村づくり」で自立の村をみぞす。高齢者を対象に大豆栽培を奨励、生きがいづくりに取り組む事で元気老人を増加させ老人医療費等を減少させる事と農業収入増加を図るねらいで村長が発案、事業導入。

② 60才以上の高齢者103名で大豆栽培スタート、イクサも30名で栽培、現在は203名体制になる。

③ 大豆加工品の製造開始、東



鮫川村農産物直売所

京の大学と連携して水に溶ける「飲めるきな粉」を開発、

ついで味噌・豆腐の他に数種の加工品を製造販売、役場職員が豆腐職人になる。

④ 効果、平成16年事業導入から早くも老人医療費の縮減につながり。今迄の事が認められ「地域づくり総務大臣表彰」を受ける。

まとめ

低迷する農業、後継者難による耕作放棄地の増えるなか事業導入を図り地域活性化につなげる必要がある。

条例の制定および一部改正

地方自治法の改正に伴い、助役制が副町長制にかわったことによる「副町長の定数」条例の制定のほか、一部改正廃止等19議案を可決した。

条例の制定

- ・ 副町長の定数を定める
- ・ 診療所
- ・ 特定公共賃貸住宅管理
- ・ 賃貸住宅

条例の廃止

- ・ 参与の設置

条例の一部改正

- ・ 職員の勤務時間・休暇等
- ・ 職員の給与
- ・ 特別報酬等審議会
- ・ 集会施設の設置および管理
- ・ 国民健康保険
- ・ ひとり親家庭の医療費助成
- ・ 重度心身障害者医療費助成
- ・ 居宅介護支援事業所
- ・ 診療所の使用料・手数料
- ・ 温泉施設設置
- ・ 町営住宅
- ・ 簡易水道給水
- ・ 議会委員会
- ・ 議会会議規則
- ・ 議会議事局設置



中ノ沢区長
神田 十三夫

区長の意見・提言



津川5区区長
赤城 正男

安全な生活道路を

中ノ沢区は三川温泉から中ノ沢川の上流約5キロに位置しております。

清流と自然に恵まれた中で19戸62人が昔からの行事を引き継ぎ、新しい発想を出し合いながら暮しております。五頭連峰の登山口でもあり、また中ノ沢渓谷森林公園は春の新緑から夏は涼を求め秋の紅葉まで、老若男女がキャンプやバーベキューで楽しんでおります。木工科学館では、見る、買うだけでなく、自分で作る体験が出来ます。世界でひとつだけのものを作ってみてはいかがですか。

自然に恵まれた反面不便さ危険性も沢山あります。現在の情報化時代にケイタイ電話も使用出来ません。行政にお願いしたい事は、住民の生活道路の整備であります。近年は県や町当局のお

蔭で道路も整備され町への交通時間も短縮され、通勤範囲も広くなり感謝しておりますが、約1キロの狭隘区間はいつも雪崩の危険に悩まされて来ました。最近ではカシノナガキクムシの被害により道路上の樹令数百年の巨木の殆んどが枯れてしまいました。毎年危険木の伐採をして頂いておりますが、また枯木の山です。いつ道路に倒れるかいつ落下するか何時も危険と隣り合わせの状況です。

先日の新潟日報に消滅集落の記事がでており、この小



1キロメートル続く危険な県道 五十沢・中ノ沢線

2つの思い

この原稿を書くために改めて「議会、だより」を見ました。一面は「あがまち」の文字が大きいのに、「議会だより」の文字は小さいと気づきました。

たよりが配布されると、さっと目を通しますが、丁寧には読んでいません。でも、自分の思いを書いてみます。

一、もっと早く昨年10月以降、これまでになく「町」のことに関心を持ちました。今度ほどのような町政になるのかと、「議会、だより」を、今か今かと待ちました。やっと2月に配布されました。もはや2月だというのに、二面に、「あけましておめでとう。」三面に委員会報告、それは11月と10月のことです。そして、最後には町長の辞職（月日の記載がない）のこと。

こんな古いことが続くのは、読もうとする気力がなくなりません。議会があつたら次の文書配布予定の日に間に合うようにしてほしいと思います。

二、もっと節約と工夫を 教員を長くやりましたので「学校だより」と「議会

だより」を比較してしまいました。「わら半紙・白黒・回覧」に対して、「いい紙・カラー・全戸配布」。大きな差があります。 高齢化・少子化の特に激しいわが町にふさわしい「米百俵の精神」が大事だと思います。この精神をふまえ、さらに議会が率先・工夫を重ねて財政の乏しい町に見合った町づくりの源になる「議会、だより」にしてほしいと思います。

議会や町をくわしくは知らない者ですが、こんなことを思っています。



本庁舎全景

日出谷公園碑 《鹿瀬編》

— 平田豊次郎翁頌徳碑 —

日出谷公園碑は、JR日出谷駅北側の通称「公園山」の頂上にある津川の平田豊次郎を讃えた碑である。

豊次郎は大正6年、長走林業合資会社を設立し、日出谷村・長走地域の森林5,000余町歩の開発に着手し、この開発を記念して現在の公園山1,000余歩を整備し、村民の憩いの場として青年団に寄贈した。

このような行いや業績に感謝した地元県議員の清田常太郎ほか村内有志が大正13年に公園内に建立したものである。

碑の篆額は荒井賢太郎、撰文は阪口仁一郎（五峰）、書は市島謙吉（春城）である。新潟県が生んだ逸材、五峰、春城の合作の碑は仰ぎみる人に深い感銘を与えている。



平田豊次郎翁頌徳碑(鹿瀬)

地域の伝統・文化

流芳百世の顕彰碑 《上川編》



先人の遺徳をたたえる顕彰碑

春の訪れとともに、基盤整備された水田は、田植えが終わると満面に水をたたえる。豊富な用水を確保するためその基盤を築いた先人の偉業が偲ばれる。

文政5年（1822）大干ばつが発生。これを機に、9年間におよぶ難工事が行われ、多額の費用をかけて立派な堰（用水路）を築いた。

当時、会津藩の役人、畑義信は

自分の財産を工事費にあて、測量や水路設計にも率先し力を尽くしたと伝えられている。

この石碑には「流芳百世（誉れ高い名を、未永く後世に残す）」と刻まれ、原堰つくり尽力した畑義信の遺徳をたたえ後世に伝えるために建立された顕彰碑である。上川中学校の校門から約200mほど九島方面に向かう県道の右側、送電線塔のそばにある。